

IMAGINE THE FUTURE

part.2

大学のブランド化

Presented by あかり

経緯

- 昨年の山田学長就任時に、大学のアイデンティティー（UI）の確立として考案される。
- 「あなたと、コンビに、」（ファミリーマート）、「AQUOS COME TRUE.」（シャープ）などコピーを手がけた第1期卒業生のコピーライター、一倉宏がスローガン。
- 同大講師で元電通イーマーケティングワン、クリエイティブディレクターの原忠信がデザイン。

想い

- 筑波大学は「新構想大学」と呼ばれ、「開かれた大学」を開学の理念
- 筑波大学が目指すナンバーワン、オンリーワンとは、最も「未来志向」の大学であること
- 筑波大学とは「未来へのフロントランナー」である

展開

- 昨年入学式では、学長式辞のとき、「IMAGINE THE FUTURE」という言葉が投影。

(今年はいかに…)

- ロゴ入りトートバック・クリアファイルの配布。
- TXつくば駅に大型広告
- メッセージソングの完成・ミュージックビデオの完成
- IMAGINE THE FUTUREの旗の掲揚(筑波大学本部棟前)校旗に附帯する旗として位置づけ
- ユニフォームを青に統一
- さまざまなメディアに取り上げられる

メッセージソング

IMAGINE THE FUTURE ～未来を想え

制定 平成21年4月
作詞 一倉 宏(人文学類OB)
作曲 吉川洋一郎(自然科学類OB)

あの峰に 流れる雲も
二度とない現在(いま)を かたちにして
君はなぜ そして僕らの
ここに来た意味も

君は見たか 未来は振り向き
君は見たか そっと僕らに告げる

Imagine the future
We shall go together
共に生きる 人類(ひと)の未来を 想え
Imagine the future
We shall go together
開かれた その未来を 想え

朝焼けに 星空に描(か)く
果てしない夢を 日々のページに
時間の海 僕らに乗せた
この宙(そら)の船は

変わる時代 変わるすべてに
変わらずある それは生命(いのち)の重さ

Imagine the future
We shall go together

続いてゆく 地球(ほし)の未来へ いこう
Imagine the future
We shall go together
開かれた その未来へ いこう

国境も そして言葉も
越える翼あれ その肩には
君はゆけ ひとりではない
いつの日も 友よ

君は見たか 未来の瞳を
君は見たか そこに僕らが映る

Imagine the future
We shall go together
共に生きる 人類(ひと)の未来を 想え
Imagine the future
We shall go together
開かれた その未来を 想え

Imagine the future
We shall go together
続いてゆく 地球(ほし)の未来へ いこう
Imagine the future
We shall go together
開かれた その未来へ いこう

(メロディーHP見てください笑 食堂で流れてるとか)

ちなみに・・・

各新聞社の和訳

朝日新聞 開かれた未来へ

読売新聞 未来を想像せよ

毎日新聞 想像して未来を開く

筑波大学の和訳は「未来を想え」でしょう。